

第2章 京都府の国際化の目標と活動主体の役割

日本の国際化は、「経済の国際化」を中心として進められてきましたが、日本経済が世界の総生産の8分の1という大きなウエイトを持つようになると、経済的開放や国際的貢献が世界から求められ、地方自治体も国際活動において重要な役割が期待されるようになってきました。また、留学や就労などの目的で日本に暮らす外国人が増加し、従来から日本に生活の本拠を持つ韓国・朝鮮の人々を含めて、地域社会で異なる国籍や文化を持つ人々とどう共生していくかという「内なる国際化」の重要性が強く認識されるようになっていきます。

今後21世紀に向けて、人類全体の平和と豊かさを実現し、お互いの人権が尊重され、多様な文化が共生する地球社会を築いていくために、京都府をはじめ府民、民間国際活動団体、教育機関、大学・研究機関、企業、市町村などが、それぞれの役割を積極的に果たし、相互に連携した取組みを展開していくことが必要となっています。

第1節 京都府の国際化の目標と基本方向

1

府民の国際理解と民間国際活動の促進

府民が様々な国際活動に主体的に参加し、異なる文化や価値観に触れることによって、自らの個性を伸ばし、異なった考え方を相互に尊重する地球市民意識を育てていけるよう、府民の国際理解と民間の国際活動を促進していきます。

2

世界に開かれた地域社会づくり

異なる国籍や文化、価値観を持つ人々の人権が尊重され、京都府に共に暮らす府民(=外国籍府民)として、安心して、生き生きとした生活がおくれるよう、「世界に開かれた地域社会」づくりをめざしていきます。

3

国際活動の基盤づくりと地域の活性化

府民、民間国際活動団体、教育機関、大学・研究機関、企業、市町村などが、それぞれの分野で活発な国際活動を展開していくことができるように、高速交通や情報通信のネットワーク、国際交流施設といった国際活動の基盤づくりを促進し、国際的な経済活動への支援や、観光・コンベンションの振興などに積極的に取組み、地域の活性化を図っていきます。

4

多様な文化の交流と創造

京都府の持つ歴史、文化、風土を活かしながら、芸術をはじめ学術、伝統文化、現代文化、スポーツ・娯楽等の市民文化など、多彩な分野での国際文化交流を進め、京都府を世界の文化の交流の広場とするとともに、新しい文化の創生をめざしていきます。

5

地域間のネットワークづくり

府内の各界各層の参加・協力のもとに、海外の様々な地域とネットワークを結び、経済、文化、地域振興、人材育成など多様な分野で協同した取組みを進め、相互の発展を図っていきます。

6

地球社会の一員としての京都府と府民

京都府や府民一人ひとりが、南北問題や地球環境問題などの解決に向けた国際協力活動や、共通の平和と繁栄を実現するための取組みに、地球社会の一員として貢献できるよう努めていきます。

第2節 多様な活動主体の役割と連携

1

多様な活動主体の役割

地域の国際化に関する課題は、府民一人ひとりの国際理解をはじめ、国際化に対応した基盤整備、国際的な経済・文化活動や国際協力、そして、異なる言葉や文化を持つ人々と共に暮らす地域社会づくりなど極めて広範な分野に及んでおり、また、府民、民間国際活動団体、教育機関、大学・研究機関、企業、市町村など多くの主体が関わっているといえます。

このため、地域の国際化を推進する上で重要な役割を果たしている府民をはじめとする様々な主体が、それぞれ役割と特性を発揮しつつ、相互に連携した取組みを展開していくことが必要です。

2

多様な活動主体の連携と京都府国際化協会(仮称)の設立

地域の国際化の担い手である各活動主体の自主的な取組みを尊重しつつ、情報やノウハウ、活動場所の提供など各活動主体の取組みを支援するとともに、相互の連携・協力を進めるネットワークの核となる組織として京都府国際化協会(仮称)を設立し、幅広い府民の主体的な参加のもとに各種の事業を展開し、府域全体の国際化を推進していきます。